

第2回 大山町水道料金審議会 議事録

日 時 令和5年5月30日（火） 15時～17時

場 所 名和公民館 第3会議室

出席者 委員：8名

町：事務局3名

傍聴：2名

1 開 会

2 会長挨拶

3 報告事項

審議委員の杉原純子さんに代わって、新たに女性団体連絡協議会から推薦いただいた桑原可菜子さんを紹介。

4 議 事

(1) 議題1 副会長の選出について事務局案が諮られ、桑原可菜子さんを選任し了承を得ました。

(2) 議題2 事務局より財政収支の見通し（資料1）を説明。

(委 員)

前回の審議会の資料の大山町給水区域図に載っていた水道施設は、すべて必要ですか？人口が減っているので、水道施設をまとめたりはできないものでしょうか？

(事務局)

国はそうするよう言ってます。そのような手法をダウンサイジングと言います。ただし、災害時や近年多発する水道事故が起きたときは、大きな施設にしているとリスクが大きくなります。リスク分散という点では、たくさん設備を設けておいたほうがいいです。また地形的なこともあります。米子は平地ですので、まとめやすいです。

(委 員)

町内に、町の水道ではなく部落水道や井戸を利用している方がいると聞きます。なるべく町の水道を使用してもらうような働きかけが必要ではないですか？

(事務局)

近年、下流の地域では、水質が悪化してきており、そのことを町も把握していますので、町の水道を使用してもらうような助言をしていますが、法的な強制力はないです。ただ、健康被害等がないように指導はしていきたいと思います。

(委員)

資料によると、来年度から赤字になることが分かっていますので、料金を値上げするしかないのですかね。

算定期間を3年間にしたのはなぜですか？3年後にまた値上げをする予定ですか？

上げるような話になっていますが、決め込む必要はないと思います。

内部留保資金はいざという時のために、必要なものであるとは思いますが。しかし、資金残高の見通しを見ると、思ったほどの赤字ではないと思いましたが。それでも、料金改定はいくらか必要だと思えます。

(事務局)

どれくらいの赤字を想定されていたかは分かりません。確かに、倒産することはないと思います。

中山地区老朽管更新を令和4年度から5年間で予定しています。国の補助金を想定していますが、要件のなかに料金回収率が100%を下回ってはいけないというのがあります。補助率は3分の1です。この補助金がなくなると、借入金や内部留保資金の使用額が増えることになります。

(委員)

令和10年度までの収支計画ですが、もう少し長期的なものは作成してないですか？

(事務局)

令和2年に水道ビジョンを策定しています。ただ、建設改良の事業計画や企業債の借入額等が変わってきています。

算定期間についてですが、昨今の物価上昇等、先行き不透明な情勢をふまえて3年間としました。

(委員)

水はいくらでもあるのですか？

(事務局)

水はたくさんありますが、汲み上げる施設は古くなります。施設が古くなると、汲み上げる量が少なくなります。

(委員)

水道料金を上げて、どれくらい収益があがるかを試算されていますか？水はとても重要なものです。水道料金を上げて使いますが、節水等を心がける方が増えると思います。

今後の事業計画が、水道料金をあげただけで賄えるのか不安に思います。ほかから助成してもらったりはできないのですか？

(事務局)

確かに、水道料金をあげても、収益が思ったほど増えないことは考えられます。不足部分を補填する方法に町の一般会計からの繰入金というのがあります。ただ、公平性という観点からみると、水道使用者で負担するべきと考えています。

(委員)

事務局の補足ですが、水道事業は公営企業ですので、他の特別会計とは少し異なり、基本的に決められたもの以外は町からの繰入金は認められてないです。水道事業の経営は、収益で賄うものだと考えたほうがいいです。

(委員)

そうすると、料金をあげないとやっていけないということですね。

(事務局)

建設改良の更新費用を抑えるという方法もありますが、老朽化が進んでいますし、材料費等も高騰しておりなかなか難しいと思います。

(委員)

料金体系は各市町村で決めることができますか？

(事務局)

はい。その部分については、今後審議していただきたいところです。国は、基本料金を高く設定し、安定収入を目指すよういっています。また、たくさん使用する人の負担が大きくなるのは公平性に欠けるともいっています。

(2) 議題3 事務局より料金改定率について(資料2)を説明。

(委員)

資産維持率3%は、どのような計算で出たのですか？

(事務局)

日本水道協会がシミュレーションを行った結果、出た数字のようですが、詳細については記されていません。

(委員)

資産維持率の0.5%とかはどうやって出たのですか？

(事務局)

3%だと料金改定率が60%と現実的ではない数字になりますので、3%の範囲内で3パターン決めましたが、特に根拠はないです。全国的に見ても資産維持率については、事業者ごとに決めてあり、含めていない事業者もあります。

(委員)

何かしら根拠がないと、住民に対して説明が難しいのではないですか？

(委員)

近隣の市町村で、料金改定をされたところはないのですか？

(事務局)

総括原価方式できちんとされたところはないと思います。必ず、総括原価方式ではないといけないわけではないので。

料金回収率を100%超えている市町村は、県内でも少数です。ただ、赤字経営でされているところは、建設改良が終わっているところで、補助金の要件等を考えなくていいのでされなくても問題ないのかもしれませんが。

(会長)

例えば1%あげたら、どれくらいになるのかとか、具体的なものがないと検討しにくいですね。以前、改定したときはどうだったのですか？

(事務局)

以前、改定したときは料金を統一することが目標でしたので、あまり参考になりません。

(委員)

3パターンの改定率で、財政収支の見通しがどうなるかを示してもらったほうが検討しやすいと思います。

(委員)

電気代やガソリン代が同額になっていますが、もう少し精査したものを基に次回お示ししてもらえたらと思います。

(事務局)

資産維持費を原価に加えることで、収支見込に少し余裕を見ることができます。できましたら、ある程度の資産維持費を加えることに同意していただけたらと思います。

(会長)

資産維持率の数字や料金改定率を示されても、雲をつかむような話で、決めにくいです。具体的に改定するとどのような見通しになるのかを示してもらって、検討していきたいと思います。次回に決めるようにしましょう。

(委員)

料金改定率と料金体系を一緒に検討することはできないでしょうか？

(事務局)

料金体系は多様です。まずは、料金改定率を決めていただいて、料金体系については時間をかけて審議していただきたいです。

参考までに、大山町の使用水量ごとの割合を出してみたのですが、8㎡までの使用者が約4割です。50㎡までの方が6割弱、それ以上の方が数パーセントです。

(委員)

今後黒字で経営するには、どれくらい必要かを示し、改定率はあとからついてくるものだと思います。

(委 員)

収支でどれくらいあれば黒字でいけると推測されてますか？

(事務局)

料金回収率が100%を超えるようにするには、資料1によると2,000万円近
黒字になればいいようですので、そのくらいを目指したいです。

(会 長)

時間が長くなりましたので、次回に検討することにしましょう。

(質疑終了)

5 その他

次回の日程 6/28 (水) 午後3時からの予定

6 閉会